

第6回 ICT を活用した新道路交通調査体系検討会 議事概要

1. 日時

令和4年11月21日（月）13:00～14:50

2. 出席者

＜委員長＞ 羽藤英二

＜委員＞ 小嶋文、塩見康博、福田大輔、布施孝志、柳沼秀樹

(50音順、敬称略)

3. 議題

- (1) 新たな道路交通調査体系について
- (2) 新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて
- (3) その他

4. 議事概要

(1) 新たな道路交通調査体系について

○事務局より新たな道路交通調査体系による今後の取組（案）について説明後、委員より、データの活用内容についても議論を深めながら、取得するデータの分解能やデータを蓄積するための仕組みについても一体的に議論していくべき等のご意見をいただいた。

(2) 新たな道路交通調査体系における常時観測データの活用に向けて

○事務局より CCTV トラカンの精度向上に関する検討について説明後、委員より、ソフト側・ハード側の改善でそれぞれ実現する精度向上について検討すべき、AI 技術の進化を見極めつつ、精度として求める要求水準について示していくべき等のご意見をいただいた。

○事務局より OD 調査再設計の方向性について説明後、委員より、OD 調査に ETC2.0 データを活用し、効率化を図っていくという方向性については概ね異論がない一方で、作成されるデータの精度や時空間的な分解能等については引き続き検討すべき等のご意見をいただいた。

○事務局より ETC2.0 プローブデータ等を用いた常時観測 OD 交通量の推定、ビッグデータを活用した交通分析手法について説明後、委員より、各技術をどのように道路交通マネジメントに活用していくかについて引き続き検討すべき等のご意見をいただいた。

3) その他

○事務局より令和3年度全国道路・街路交通情勢調査（OD 調査）の速報値について説明した。